

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信

～昔の岩沼の地形について～



岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

第 **32** 号

2024年12月25日発行

岩沼市ふるさと展示室(市民図書館2階)

TEL: 0223-25-2302

質問受付中!

約2万年前の地形

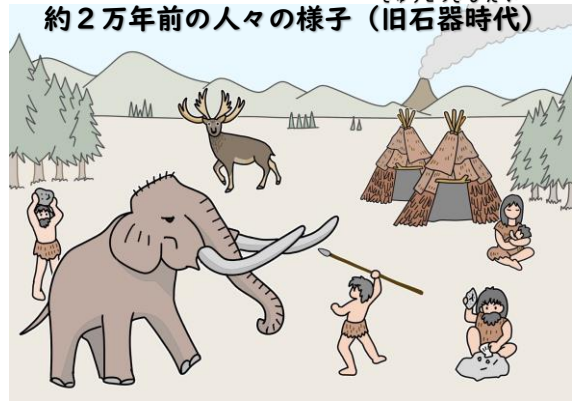
約2万年以上も昔、地球の気温はとても低く、陸の多くは氷河(雪と氷のかたまり)におおわれていました。気温が低いと海水が氷になるので、水位が下がります。なんと岩沼の海岸線は現在より45km以上も先まで後退していたと考えられています。



現在の海岸線



約2万年前の海岸線



約2万年前の人々の様子(旧石器時代)

イラスト: 宗なほ氏

じょうもんじだい

縄文時代の岩沼の地形

6500年前の縄文時代は、今よりも気温が高く温暖でした。そのため氷河が溶け、海水が増え陸の所が減りました。今度は逆に岩沼の大部分が海になりました。

やがて地球環境が再び変化し、気温が下がり始めると少しずつ海岸線が後退していきます。現在の海岸線は江戸時代はじめにできたと考えられています。

6500年前(縄文時代)

6000年前(縄文時代)

4000年前(縄文時代)

3000年前(縄文時代おわり)



は山や丘

は川がつくった自然堤防

は浜堤(砂浜)

は湿地

山畑南貝塚(小川)で見つかったヤマトシジミの貝層

ヤマトシジミは、海水と淡水がまざる場所に生息する貝です。すぐ近くに海があったことがわかります。



イラスト: 宗なほ氏